

FAQ : GCP 請求代行サービス

Cloud IAMについて

Q: プロジェクトを操作するアカウントはどのように作成されますか？

当社側でGCPプロジェクトを作成後、お申し込み時に申請いただいたお客様保有のGoogleアカウントに対し、Cloud IAMのオーナー権限を付与いたします。

Q: Googleアカウントはiret側で用意可能でしょうか？

申し訳ありません。

現時点では当社側でお客様用のGoogleアカウントをご用意することはできません。

以下のようなサービスをご検討いただくか、お客様にてご用意ください。

■KDDI 法人・ビジネス向け「G Suite」(グループウェア)のご案内

<https://www.kddi.com/business/cloud/groupware/gsuite/>

Q: プロジェクトに他のアカウントを追加したり権限を付与することは可能でしょうか？

はい、可能です。

プロジェクト作成時にお引渡しするオーナー権限を持ったアカウントから、他のGoogleアカウントを招待、また役割の付与等の操作を行っていただけます。

Q: サービスアカウントを発行することは可能でしょうか？

はい、必要に応じてサービスアカウントのご利用が可能です。

なお、サービスアカウントをご利用いただくには、

Cloud IAMの管理権限が付与されたGoogleアカウントのみが発行可能となりますので、適宜「オーナー」もしくは「編集者」の役割を付与ください。

Q: Googleアカウントを追加した場合、iretへの報告は必要でしょうか？

不要です。

プロジェクトお引渡しの際にお客様のGoogleアカウントに「オーナー」の役割を付与しますので、以降はお客様側で他のアカウントの招待が可能です。

サポートについて

Q: GCPコンソールからGCPサポートに直接問合せすることは可能でしょうか？

GCPコンソールからGCPサポートを直接ご利用いただくことはできません。

GCPプロジェクトに関する申請のご依頼をはじめ、

サービスご利用中のお問い合わせはcloudpackサポートサイトにお問合せください。

■ cloudpackサポートサイト

<https://cloudpack-gcp.zendesk.com/>

Q: GCPプロジェクトにログインできません。どうしたら良いでしょうか？

プロジェクトへの招待メールが以下件名で届いているかと存じます。

本文中のURLをクリックし、承認をお願いいたします。

メール件名：「Google Developers Consoleのプロジェクトへのご招待」

宛先はお申込書の1番上に記載されているGoogleアカウント宛になります。

上記以外でログインができない場合は、大変お手数ですがsales@cloudpack.jpまでご連絡ください。

Q: 技術サポートは、どのような方法で受けられるのでしょうか？

当社のGCP請求代行サービスではcloudpackサポートをご利用いただけます。
お問合せはサポートサイト上で承っており、GCPプロジェクト毎に発行するアカウントにてログイン
いただき、チケットを起票いただきます。

■ cloudpackサポートサイト

<https://cloudpack-gcp.zendesk.com/>

Q: 技術サポートは、どのような種類のものが受けられるのでしょうか？

cloudpackサポートでご提供します内容は下記の通りです。

- ・ 上限緩和などの各種申請
 - ・ GCPの障害調査
GCPのプラットフォーム側で障害有無の調査
※お客様個別のプロジェクトへのログインは行いません。
 - ・ GCP仕様調査
公式ドキュメントに記載のない、各プロダクトの仕様確認など。
 - ・ Billing周りのお問合せ
- ※Googleアカウント固有の問題については対象外となります。

プロジェクト移管について

Q: 既存のプロジェクトをiretに移管して請求代行サービスを利用できますか？

はい、可能です。ご希望の際はsales@cloudpack.jpへお問合せください。

Q: 既存のプロジェクトをiretに移管する際に、サービスが停止することはありますか？

いいえ、移管作業時にサービスが停止することはありません。

Q: プロジェクトを移管した際に、Cloud Identityやフォルダ、カスタムIAM等の利用は可能でしょうか？

組織側で設定が必要なサービスの利用はいずれも不可となります。左記の場合ですとカスタムIAMの利用は移管をした場合でも利用可能です。もし移管後も組織リソースをご利用されたい場合は別途ご相談いただけますと幸いです。

Q: 既存プロジェクトの移管に際し、こちらで確認しておくべきことはありますか？

以下6点、事前にご確認いただけますとその後のお手続きがスムーズになります。

- ・ SCC(Security Command Center)のpremium-tierの利用
- ・ 移行対象のプロジェクトの組織(Org)紐づきの有無

※組織に紐づいている場合は以下についてのご利用有無を併せてご確認ください。

- ・ 共有VPC
- ・ Cloud IAMのカスタムの役割
- ・ 組織ポリシー
- ・ フォルダ

契約について

Q: 新しいプロジェクトはどのように作成しますか？

お客様側で自由にプロジェクトを作成いただくことはできません。プロジェクト単位にお申込書をご提出いただく必要がございます。お申込みに際しては、sales@cloudpack.jpへご連絡ください。

Q: サービス開始までのリードタイムはどれくらいでしょうか？

お申込書受領後、3営業日以内にGCPプロジェクトをご用意いたします。

Q: 解約をしたい場合はどのような手順となりますか？

解約申請書のご記入および提出をもってご契約終了となります。解約申請書が必要な際は、sales@cloudpack.jpまでお問合せください。

Q: 契約終了時に、プロジェクトは削除されますか？

お客様より特にお申し出がない場合は、当社側でプロジェクトの削除を実施いたします。ご解約時のご利用のプロジェクト内のリソースにつきましては、お客様側で事前に削除を実施いただきますようお願い申し上げます。なお、プロジェクト削除後はデータへのアクセスは不可となりますので、必要に応じてデータ退避はお客様にて作業をお願いいたします。

Q: プロジェクト削除後のデータの取り扱いはどのようになりますでしょうか？

GCP上のデータ削除の詳細については以下をご確認ください。

<https://cloud.google.com/security/deletion/?hl=ja>

Q: 契約終了時に、プロジェクトを自社側に移管できますか？

ご解約のお申し出の際、プロジェクト移管のご希望をいただければ対応可能です。しかしながら、GCPの仕様上、実質的なプロジェクト移管作業は当社側では実施できませんので、予めご了承くださいませ。(プロジェクト移管は、移管先の請求先アカウントの管理者権限が必要となります。)

当社での対応範囲は、移行対象プロジェクトの当社組織からの紐づけ解除までとなります。貴社組織への紐づけおよび貴社ご用意の請求先アカウントへの紐づけ作業はお客様にて実施いただきます。

Q: subbillingアカウントは1社につき複数登録可能でしょうか？

恐れ入りますが、1社様につき1つのみ登録が可能です。

Q: 申込書に記載するGoogleアカウントは、GCPを利用していないアカウントである必要がありますか？

いいえ、既にGCP等をご利用いただいているGoogleアカウントでも問題ございません。ただし、既にご利用中のGCPプロジェクトに対して当社の請求代行サービスをご提供する場合は、貴社プロジェクトを弊社へ移管する必要があります。

Q: プロジェクト名の文字数制限はありますか？

文字数制限は6-30文字となります。また、プロジェクト名に使用可能な記号はハイフン(-)のみとなります。

Q: プロジェクト名の変更は可能でしょうか？

プロジェクト名は変更可能ですが、プロジェクトIDは変更不可となりますのでご注意ください。

Q: GCP請求代行サービスに関する利用規約はありますか？

以下をご確認ください。

<https://cloudpack.jp/term/invoice-gcp.html>

Q: Googleアカウントのアドレスは@gmail.comでも問題ないでしょうか？

はい、問題ありません。ただし、cloudpackサポート用に作成するメーリングリストへの参加は企業ドメインのメールアドレスのみとさせていただいておりますので、予めご了承ください。

Q: 初期費用は発生しますか？

いいえ、初期費用は発生いたしません。

Q: 国内以外のリージョンや継続利用割引、確約利用契約の購入費用も3%割引対象となりますか？

はい、上記全て割引対象となります。

Q: 割引対象とならないサービスはありますか？

Firebaseは割引対象外となります。その他気になるサービスがございましたらお気軽にご相談ください。

Q: 無料利用枠は利用可能でしょうか？

無料利用枠については以下の2つがございます。

・プロジェクト作成時に付与される\$300のクレジット
⇒こちらは当社請求代行サービスの場合はご利用いただけません。

・各サービスプロダクト毎に設定されている無料利用枠(Always Free)
⇒こちらは当社請求代行サービスでの場合でもご利用いただくことが可能です。また、無料利用枠の利用状況についてもGCPコンソール上でご確認いただくことが可能です。

※操作方法※

1. 対象プロジェクトを選択
2. メニューバーから「お支払い」を選択
3. 「リンクされた請求先アカウントに移動」を選択
4. お支払いメニューバーの「レポート」を選択
5. 画面右の「フィルタ」にて「期間」を選択
6. 「グループ条件」にて「SKU」を選択
7. プロジェクトが複数ある場合は、「プロジェクト」のプルダウンから確認したいものを選択
8. 適宜ページを開き、使用があっても無料利用枠の範囲内であれば費用の表示が\$0.00となっております。

請求について

Q: 請求書はどの単位で発行されますか？任意のプロジェクトをまとめるor分けることはできますか？

お客様単位もしくはプロジェクト単位で発行が可能です。ただし、任意のプロジェクトをまとめることはできません。また、複数のプロジェクトがあってもご請求書に各プロジェクトの明細を記載することもできませんので、予めご了承ください。

Q: 各プロジェクトの利用料明細を確認するにはどのようにすればよいでしょうか？

お客様側で、GCPコンソールよりご確認いただくことが可能です。

※操作方法※

1. 対象プロジェクトを選択
2. メニューバーから「お支払い」を選択
3. 「リンクされた請求先アカウントに移動」を選択
4. お支払いメニューバーの「レポート」を選択
5. 画面右の「フィルタ」にて「期間」を選択
6. 「グループ条件」にて「プロダクト」を選択
7. プロジェクトが複数ある場合は、「プロジェクト」のプルダウンから確認したいものを選択

Q: 支払いサイトはどのようになりますか？

翌月初締め／翌月末お支払いとなります。貴社の支払いサイトが異なる場合は、ご相談くださいませ。

例) 11月利用料

12月月初：GCPにて利用料の締め

12月10営業日頃：ご請求書を郵送

12月末日：お支払い期限

Q: 為替レートはどのようになりますか？

ドルから日本円の変換については、みずほ銀行が公開する為替公示ヒストリカルデータの月中平均データを利用します。

<https://www.mizuhobank.co.jp/market/historical.html>